



## 九州学院同窓生の皆さん いかがお過ごしですか？

会長 S30 島本 誠

とくに就職や新入学で東京方面に初めて出てこられた諸君！こちらでの生活にもそろそろ慣れた頃でしょうか。5月病などど吹く風、柔軟な適応能力は九学卒の持ち味とばかりに新生活を謳歌し、もうすっかり都会の人になり切っているキミ！でも本当は熊本弁を標準語に翻訳しながら会話したり、環境の変化にいろいろと気を使い、少々疲れ気味なのではないですか？そんなキミ達を東京九学会はあたたかくお迎えます。

さて、今年の総会は、東京九学会発足40周年のお祝いも兼ねて、来る7月11日土曜日夜刻より東京千代田区の「学士会館」にて開催します。熊本からは阿部英樹院長はじめ懐かしい先生方、同窓会やPTAの有志の方々、昨年からご参加いただいている九州女学院OGの方々など、九学ゆかりのたくさんのゲストをお招きすることになっております。旧制時代の大先輩から新卒者に至るまで、年齢差じつに60才。幅広い世代が集うこの会ではありますが、九学という共通項のおかげで話題に事欠くことはなく、思い出話もつきることがありません。故郷や母校への思いは遠く離れば離れるほどつよくなるものです。



東京九学会 平成26年度総会

この東京の地において少なからず同じ思いを共有する同窓生が一堂に会し、何かしらの糧を得ていただければ大変すばらしいことだと思います。当日は、より多くの皆様と共に有意義で楽しい

ひと時を過ごさせていただきたいと考えておりますので、是非ともご参加下さいますようよろしくお願い致します。

## 甲子園観戦考

母校野球部のおかげで春の選抜開会式を見学するチャンスをいただきました。熊本第一高校の生徒さんが司会と聞いてほのぼのしたり、「最近の選手宣誓は憶えるのが大変だ」など、完全に外野の視点で眺めておりましたが、きれいに整列した32校に目を移した時、ふと思ったことがあります。この舞台にいるのだからどの学校の選手達も立派で、一見差異がないように見えるけれども、それぞれの目標は全然違うのだろうか、ということです。



3月21日 甲子園一塁側応援席

「甲子園に出場することが目標」「甲子園で優勝することが目標」または「ベスト8、ベスト4に進出することが目標」など。そうであれば自ずと、それぞれの目標を達成するための練習レベル、他にも選手の意識や選手の自信、どの試合にピークを合わせるか等の調整の仕方、さらに普段の過ごし方まで、あらゆる面で違いがあるはずで

今回の結果は残念でしたが、それでも我が九学野球部が、甲子園での優勝を目標に日々努力を重ねていること、そして目標達成が高い確率で可能なことを我々は知っています。さらに昨秋、神宮野球大会で九学が勝利した相手校・敦賀気比が、春の甲子園での優勝を果たしたことによって、九学が目指すべき目標を一層明確にしてくれました。

どうか気概をもって夏に挑んで下さい。

期待してます！

## 東京九学会設立 40 周年によせて

九州学院同窓会会長 S21 山崎 恒雄



東京九学会の皆様、「設立 40 周年」おめでとうございます。九州学院同窓会は、東京九学会をはじめ、全国各地の同窓会支部の活発な活動を背景に団結と協調の精神をもって展開しています。

また、現役の生徒諸君の各方面での活躍は目覚ましく、「ナルドの壺 基金」に寄せられた募金による学力優秀生徒への学力アップへの支援なども早速効果が出ており、現役で東大・早稲田大に合格者を出す事ができました。スポーツ面では日本高校界のトップを行く剣道部をはじめ、駅伝も全国大会常連校であるなど、熊本県での優勝旗の数 10 本前後をコンスタントに獲得するその勢いは他校の脅威となっています。OB である私たちまで青春を謳歌するような喜びを次々に味あわせて頂いています。

先日の野球部の第 87 回選抜高校野球大会出場も、大応援団が詰めかけるなど大変なインパクトがありました。夏の甲子園出場を目指してのリベンジに大いに期待しています。

東京九学会が若手の会 KG 会と融合され、より強固な組織として運営されていますことに敬意を表しますとともに今後ますます発展されますことを心より祈念申し上げます。また、4 月 17 日には本部同窓会の総会がありました。例年遠隔地より参加して頂いており、旧交を温めています。今後とも全国の同窓生の方々に親しみをもって活動を理解して後押しして頂けるよう役員一同努力して参ります。

## 昭和 33 年卒業生の「燦々会」

燦々会\*

昭和 33 年に九州学院を卒業した S10 回の学年同窓の私たちは、語呂合わせで「燦々会（さんさんかい）」と名付け 12 年前に発足。毎年 3 月 3 日に総会・懇親会を開くほか暑気払いや忘年会など一年を通して様々な会合を開いています。

今年は、3 月 3 日（火）に阿蘇プラザホテルにて『喜寿』の祝会を行いました。会には関東（5 名）、関西、



若々しい人ばかり



阿蘇神社参拝

四国などからの参加者を含め 32 名が集い、九学後輩の阿蘇氏が大宮司をつとめる「阿蘇神社」に参拝・・・夜は青春時代に立ち返り大いに賑ったことはご想像のごとします。（注、ホテルのメイドさんやコンパニオンさんからは、皆さん全員若々しい方ばかりですね！と嬉しい言葉も・・・）。

翌日は母校九州学院を訪れ、なつかしいブラウン・メモリアル・チャペルで、小副川チャプレンからの祝福を受け、賛美歌を歌い、はるか 57 年前の懐かしい学生時代に思いを馳せ、感涙にむせぶ友の姿もありました。ローマ・東京オリンピックに出場した水泳の吉無田春男君も当会の一人で、昨年リニューアルオープンの「歴史資料・情報センター」に展示された当時の本人使用のユニフォームを懐かしそうに眺めていました。

鶴屋百貨店の前会長の本田一君も当会のメンバーの一人であることから、毎年の懇親会も同店の宴会場を利用していますが、昨年は「東京燦々会」も立ち上げ熊本からも参加するなど交流を深め活発な活動を展開しています。

この度は「東京九学会結成 40 周年」、誠にありがとうございます！総会・懇親会には一人でも多くの燦々会メンバーが参加出来ますよう声かけを行います。ご盛會を心から祈念申し上げます。

\*会長・豊田稔、代表幹事・藤城芳之



学院の施設 その2

2号館 校舎

九州学院同窓会

小崎義昭 (S4)

## 祝 東京九学会発足40周年

前九州学院事務長 池 永 清

J 18 回（昭和 40 年 3 月卒業）

S 20 回（昭和 43 年 3 月卒業）

## 九州学院をこよなく愛した上村希文さん

S4 岩崎 國春\*

東京九学会元常任幹事の上村希文さんが、今年の7月23日朝まだき、神の賞与を目指し、「死に至るまで忠実」に、人生の馳場を走り抜け、神の許に召されました。

上村さんは、九州学院に昭和16年4月に入学され、昭和20年3月に卒業、丁度太平洋戦争の時期と重なり、未曾有の国難の時でした。

上村さんは、「在学時代、まともに勉強ができたのは一年生の時だけ。二年生からは、勤労働員に明け暮れ、農作業に、鹿屋や菊池での飛行機掩体壕作り、最後は健軍三菱での爆撃機作りに駆り出されました。この在学4年間を片時も忘れたことはありません。でも、人間味豊かな先生方や熱き友情の絆で結ばれた学友達との出会いの場であり、私にとって唯一の母校九州学院に心から感謝したい」と常々口にされていました。

上村さんは、基督者のご両親の温かい庇護のもとで、5人兄弟姉妹の長男として成長されました。

父上の一仁先生は、九州学院旧制6回のご卒業で、昭和15年4月から母校に英語教師として奉職中、戦争勃発により、昭和16年7月に陸軍中尉で応召。満州を経て比島に派遣され、同地で比島派遣軍総司令部付き通訳の軍務につき、終戦を前に、昭和20年6月に激戦地アクレで戦死。40歳。

戦後、比島での父上の人道的行為が、相手国から明らかにされ、国際的逸話になりました。

父上のこの人道的行為については、父上のご学友川瀬清先生(第3代九州学院院長)が、「九学の<敬天愛人>の教えに従い、<役に立つ善人>の道を歩いた兄弟の一人」と評されました。

父上の比島での足跡については、「九州学院百年史」に詳しく記載されています。

父上は、お子様方を心から愛し、戦地に赴く前に、男のお子様方へ「父は、お前たちの如きよき子を持ちたるを誇りとす。三人手をしっかり握り締めて母を守れ」との遺言を残されています。

上村さんも、父上をととても敬慕されました。



2011年3月 天草にて(右から2番目)

父上が学び、父上を育て、父上が長じて働きの場ともなった九州学院を、上村さんが何物にも代え難きものとして、こよなく愛し、誇りに感じられたのは、決して不思議ではありません。

父上の戦死。空襲で家屋焼失。敗戦。戦後の上村家は、筆舌に尽くし難き苦しい生活の連続。

上村さんは、母上を助け、家族を守るために、炭鉱夫、沖仲仕、米軍施設、長距離貨物運送運転手、ガードマン等昼夜を分かたずの働きでした。

ご結婚、お子様の誕生、お子様の大病入院、よき伴侶のご召天、ご本人の病気と悲喜こもごもの中にも、常に母校の行く末を案じ、特に、母校の男女共学や大学設置問題には、東京九学会の一員、はたまた一個人としても、大いに危惧の念を表明され、この解決に精力的に行動されました。

母校の母体である日本福音ルーテル教会のありようにも、とても心を碎かれました。

卒業生の拉致被害者松本薫さんの救出運動に奔走されていた姿が、今も鮮明に思い出されます。

上村さんが神に召されてやがて一年の月日が流れます。そして、私達に「勇ましい高尚なる生涯」を遺されました。

平成3年、上村さんは、父上終焉の地に、母上ご希望で「主に結ばれて死ぬ人は幸いである」(黙示録の聖句)が書かれた十字架の墓標を建てられました。

今、私は、深い思いの中に佇んでいます。

\*昭31.4～平6.3九州学院社会科教諭

## CHOR BÄREN

### 混声合唱団コール・バーレン20周年記念演奏会

伝承童謡マザー・グースメロディー、近代日本名歌抄より  
テノール大沢一彰 ソロ …… 帰れソレントへ ほか  
混声合唱のためのヒットメロディー …… HANAより

2015年9月19日(土) 開演14:00

渋谷さくらホール(セルリアンタワー隣)

連絡先 S6 尾上090-1995-5507, S6 亀尾 090-2667-4502

寿司・季節料理  
くまもと料理

あづま

TEL 03-3213-2728(休日:土・日・祝)

理 容

ニュー東京

TEL 03-3215-2538(休日:日・祝)

九学出身の方は2,400円(通常3,000円)のサービス料金でお待ち致しております。

〒100-0005 千代田区丸の内3-4-1(新国際ビルB1) 吉村 勉 (S9)

### 3.11 復興事業の4年間を振り返る!

S6 東京久憎会会長 反後 堯雄\*



2011年(平成23年)  
3月11日14時46分  
東日本大震災が起きた!

震災後、福島県、宮城県の太平洋側を中心に視察しましたが、その震災のあまりにも酷い惨状の爪痕をみて自然の仕打ちに恐怖を感じ息を呑みました。然しながら3月12日福島第1、3月14日に第2原子力発電所の水素爆発事故が勃発した事で状況が一変したのです。放射能と言う化け物が東日本を完全に覆い被さったからです。それは大地震、大津波、水害などの自然災害だけに留まらず放射能による汚染は、土壌汚染、動植物被害、風評被害等々、私たちの生活、健康を脅かし続けることになったからです。

早速、福島県からの指示要請を受け、所属している(社)福島県産業廃棄物協会で緊急理事会が招集されました。当初は国行政も対応に混乱があったのか、我が社の最終処分場の利用を巡って各所轄から問い合わせ要請があり、その対応に苦慮しました。正に縦割り行政の悲哀です。これは少なからず現在でも引きずっていると思います。何はともあれ此の膨大な瓦礫の処理と汚染物を何とかしなければ…。私も協会の副会長の立場である為、県内で一番悲惨と言われた南相馬の被災地の瓦礫処理に積極的に取り組む事にしました。先ず何もない荒涼とした広場に体育館みたいな912㎡の大きなテントを建て、中に自走式選別機2台、手選別コンベヤ、局所集塵機等々機材を持ち込んで選別作業を開始しました。出来るだけ地元の人を採用するようにとの要請だったのですが作業員が中々集まらず困りました。後で解かった事は、働いて収入があれば被災者への一人当たり補助金20万円がカットされるという事でした。それなら働かないでいた方が良くと言う選択だったのでしょうか。私は、働いてもらって両方の収入があって良いではないか、その方が労働意欲が湧いて処理も

捗るのだが・・・と言ったのですが、結局駄目で人の雇用も遠くからとなり、交通費等を含めると高いものになってしまいました。その選別作業も今年2月末で終わり3年間の仕事は一段落しました。ただテントの周りは今でも行き場のない選別物が積載されています。というのも、その行き先となる中間保管施設場を行政が必死に探していても、決めかねている事はマスコミ新聞報道で周知の事でしょう。南相馬だけでなく県内至る所に山積みされているのが現状です。だからこそ我が社の処分場は、要請があった際には協力するようにしています。

一方、復興についても全県市挙げて取り組んでいます。福島市商工会議所の中に「復興・再生委員会」が立ち上がり、人口及び県内企業の流失を防ぎ県外からの企業誘致、町の活性化、魅力ある県づくり等々議題は山積しています。私も復興・再生委員の一員に任命され、主に産業復興の担当グループに属していますが、県内の住民及び企業からは先ず「汚染された物を何とかしろ!」の声もあり、そう簡単には進まないのは前述の通りです。私としても処理の方と復興・再生の両方に属しているので双方の言い分は良く理解できるのですが、私は一貫して「環境と経済は両輪」で同時に進めなければならないと信じています。

大震災が起きて早4年が過ぎ、5年目に入りました。今回の震災は半端じゃないし国家の一大事だと思えます。処理の方も実際はかなり長期になりそうです。全てを顧みて自然の偉大さに改めて畏敬の念を持ち、環境を守る事が如何に大事な事であるかと、今回の災害の多量の廃棄物処理に携わる事により日々痛感しています。20世紀は石油と戦争の時代、21世紀は水と環境の時代と言われています。産業革命以来、私達人類が知らぬ間に傷つけ、痛めつけて来た地球を今後は少しでも修復、再生して行かなければならなりません。自然環境は私達人類だけのものではないのです。等しく全生物のものであり子々孫々まで引き継がれて行かなければなりません。私達全生物は自然の中で生かされているのだから。

私達全生物は自然の中で生かされているのだから。

私達全生物は自然の中で生かされているのだから。

\*株式会社クリーンテック相談役名誉会長

## 廃棄物処理を通じて社会に貢献します

株式会社クリーンテック

飯坂クリーンサイト  
ISO 14001 認証取得

〒960-0261  
福島県福島市飯坂町中野字赤落27番  
TEL:024-541-2811 FAX:024-541-2510

〒163-0712  
東京事務所 東京都新宿区西新宿2丁目7番1号 小田急第一生命ビル12階  
TEL:03-6304-5010 FAX:03-5323-6750

**CLEANTECH**  
クリーンテックグループ

相談役名誉会長 反後 堯雄 (S6/昭和29年卒)

株式会社クリーンテックサマー

深谷クリーンサイト  
ISO 14001 認証取得

〒366-0812  
埼玉県深谷市大字折之口1985  
TEL:048-572-3445 FAX:048-572-3446



飯坂クリーンサイト

深谷クリーンサイト



クリーンテックグループホームページURL <http://www.clean.ne.jp/>

# オカヤマくん “227cmの世界”

月刊バスケットボール(日本文化出版)好評連載中!



我らが東京九学会副会長 S25 岡山恭崇さんです。ご存じ、バスケットボール元日本代表選手。スポーツ界のみならず“日本一身長の高い人”ゆえに生じた「オカヤマくん」の日常は、人々の驚愕と感動を呼んでいます。“日本語お上手”どころか、日本語への造詣も深く、後出 “今さら意味を聞けない日本語”の資料は岡山さんの提供です。

編集部

# 九学から【Learn】→【Lean】を!

J48 里 知歌子

創立 102 年そして、男女共学 24 年目の立夏、『九州学院』という学び舎でお過ごしの方はどの様な想いで「学生生活」という時間をお過ごしでしょうか。また、その学生生活を支え、応援されている方や、この『東九通信』や『九学通信』で九学を思い出された方は「現在 (いま)」という時間をどのようにお過ごしでしょうか。



私は J48 回卒業で、現在、東京～横浜を中心に『西洋医学だけではない、選べる医療』を【持続可能な社会】の観点から【宇宙観】と【つながり】を以て創造している、看護師の里知歌子と申します。自己紹介に見慣れない文字が躍っているかと思いますが、私は学生の時から常に「今見えている既存のものが全てではない」と考える癖があり、現在に至っております。

そのように思う背景には、私達男女共学 2 年目の入学前後から「ベルリンの壁崩壊」や「湾岸戦争」、国内では「バブル崩壊」や「阪神淡路大震災」、身近なところでは「九州学院・男子校の校風崩壊」と、社会の不安定さと「就職氷河期」という言葉で、【学び】などの【当たり前】の価値観がテレビ等を通し、目の前で崩れていく姿を見ていたせいかもしれません。

それは、卒業してからも「9・11」と呼ばれる「米同時多発テロ」や、私も仕事に遭遇しました「東日本大震災」、そして、現在も進行形で進み続ける持続可能にはほど遠く思える悲惨な情勢が、思考=癖の根底にあり、働き方=生き方に反映していると、この場を与えてくださったことで振り返ることが出来ました。

## 川崎会計事務所

税理士 川崎 義治

東京九学会監査役(S11)

〒171-0021 東京都豊島区西池袋5丁目24番12号 西池袋ローヤルコーポ902  
TEL (03)3984-2858 FAX (03)3984-2868 URL <http://www.kkj.biz>

多摩八十八ヶ所第一番札所  
真言宗豊山派



安養寺

住職 東京九学会会長 島本誠永 (S30)

〒180-0002 東京都武蔵野市吉祥寺東町1-1-21

感謝を込めて、私が大事にしてきた【学び】をこの場で学生の時の反省等も込め、披露したいと思います。それは…【コミュニケーション】です。

私も実際に体感した「東日本大震災」の後より、国を挙げ【つながり】という言葉で【コミュニケーション】は語られ、【こころ】や【女性も活躍できる社会】が語られてきました。国は、日本だけでなく、「SNS」といったテクノロジーで世界の壁を壊し、超えてつながり、【こころ】の再生から、世代や人種、そして性別を超えて、新たな持続可能な社会が生まれようとしています。

気付けば、私が九学や熊本とのつながりを断っていた間に、【こころ】の教育や【女性も活躍できる社会】が構築されていました。

世界的に有名になった「生きもの」の壁を越えて活躍する「くまモン」は熊本に所縁の深い夏目漱石を偲び、「SNS」=【コミュニケーション】ツールの代名詞「Facebook」の最高執行責任者(COO)シェリル・サンドバーグは「女性は職場でもっとリーダーシップを取れると信じているし、男性は家庭でもっと力を発揮できる。そして、その方が世界はもっとよくなる。」と、女性の地位向上だけでなく、男性社会や企業の在り方も語っています。また、日本の劇作家の寺山修二も似た言葉を残しています。「Lean in!」=「一歩踏み出そう!」と。

机上の知識だけでなく、「書を捨て、街に出る」勇氣と行動力を『九州学院』のご縁を通して皆様とこれからもつながり、新しい社会を創り上げていけたらうれしいです!

## KG 会からのお知らせ

### 新卒者・上京者歓迎会を行います。

今年は7月11日(土)東京九学会40周年総会を盛り上げるべく総会の前に新卒歓迎会をおこないます。お昼より「KG会おすすめの東京観光」を行いその後、総会に合流する形となります。

過去には、江戸の文化にふれたり、オープンバスでの観光や隅田川クルージングなど興味はあるけど普段自分ではなかなか行かないようなところをテーマにまわりました。

今年も充実したコースを準備しております。是非、諸先輩方もご参加いただきますようよろしくお願い致します。

詳細情報は、KG会ホームページもしくはKG会メールにてお知らせいたします。KG会メールにて情報を配信しております。

<http://www.kg-kai.jp/>

こちらでメール会員登録をお願いいたします。

## マット君\*の英語教室

### Japanese words we can't ask what they mean at our age.

#### 今さら意味を聞けない日本語を英語で何と言う

岡山副会長が「今さら意味を聞けない日本語1000(エンサイクロネット編)」から抜粋という資料を提供して下さったので、その前半を抜き出してマット君に意味を英語で書いて貰いました。

(\*S54 Matthew (Matt) Berzins: 東九通信編集部)

**岳父(ガクフ): Father-in-law** 妻の父。中国に岳婿山(ガクセイザン)という山があって、「岳」は「婿」の上にあるという。

**土左衛門(ドザエモン): Drowned body of a person** 江戸時代の力士、成瀬川土左衛門が肥満体で色が白く、まるで水死体のように見えたから。

**業つく張り(ゴウツクバリ): Stubbornness** 強情で自分の考えを変えない/不合理だと思ってもやっってしまう宿命的な行為、stub+born 生まれながらの「残り物」。命。

**燻銀(イブシギン): Refined taste** 銀の表面を硫黄の煙で燻し、くすませた銀の色/キラキラしないで上品なこと。

**横紙破り(ヨコガミヤブリ): Acting illogically** 和紙は漉き目が縦に入っていて横には破り難い/理の合わない行い。

**木偶(デク)の坊: Good for nothing** 木彫りの人形は何の役にもたないか…。

**佳(カ)人: Beautiful woman** 地口(言葉遊び)では「佳人、麗人、美人、シャン」の中では最上位にランクされたそうで、most beautiful…と云ってもいいかも。



建設業許可 神奈川県知事許可(般21)第50909号

株式会社 **タイセイビルド**

取締役会長 **齊藤 征一郎 (S12)**

土木・建築・リフォーム・店舗・設計施工・建物総合保守管理  
冷暖房・冷蔵庫・厨房設備・設計施工・メンテナンス

〒233-0016 横浜市港南区下永谷5丁目71番12号  
電話 **045-823-8644**(代) FAX 045-826-2197  
E-Mail: [taiseibirudo@if-n.ne.jp](mailto:taiseibirudo@if-n.ne.jp)  
携帯電話 090-3223-0330

## 翻 訳

**竹熊 誠 (S15)**

TAKEKUMA, Makoto

〒860-0845 熊本市上通町4-10 とらやビル 402号

TEL・FAX (096) 354-9575

E-mail: [mtakekuma@ss.em-net.ne.jp](mailto:mtakekuma@ss.em-net.ne.jp)

**糟糠(ソウコウ)の妻:** Wife who has followed one through hard times 夫が貧しい頃(hard time)から連れ添って来た妻。糟糠は酒かすと米ぬか。

**いざ鎌倉: Event of an emergency** 大事件発生の時: 貧しい武士が一旦緩急あらば鎌倉へ馳せ参じようと準備をしていた謡曲「鉢の木」から。

**小田原評定(オダワラヒョウジョウ): Fruitless discussion** 無駄な会議のこと。秀吉が小田原城を攻めたとき、北条側が戦うべきか開城すべきかで評定に明け暮れ、その間に滅ぼされてしまった故事による。会議は踊るThe Congress dances, but not progressに近いか。

**權(カイ)より始めよ: Start with the first step** 手近なところから始めなさい。中国の郭隗が王に対し「自分の様な平凡な者から登用すれば賢臣が集まるだろう」と言った。(下位より…ではなかった!)

**薩摩守(サツマノカミ): Free ride** 無賃乗車。薩摩守平忠度(サツマノカミタイラノタダノリ平安末期1144—1183)

**元の木阿弥(モノモクアミ): Ending up right back where you started** 初めの状態に戻ってしまった: 戦国武将 筒井順昭の替え玉だった木阿弥(モクアミ)が役目を終えると元の取るに足らない人物に戻った。

**偕老同穴(カイロウドウケツ): Happy life partnership** 「古来偕老同穴は人倫の至福なるものにして既に己に其習慣を成し、社会全体の組織も之に因りて整頓したることなれば今俄に変動せんとするも容易に行はるべきものに非ず」(福沢諭吉) 久憎会、燦々会はこれですね。

**側杖(ソバヅエ)を食う: Getting dragged into somebody else's fight** 他人のトラブルに巻き込まれる。杖で打ち合って喧嘩をする人の側に居ると当たって打たれる。

**うんともすんとも: Keep silent** 黙っている。‘うん’は承諾‘すん’は鼻声か。一説には「ウンスンカルタ」ウン:1、スン:最高点(何れもポルトガル語)に熱中して一言も言わなくなった…から。

**けちゃんけちゃん: Thorough** 徹底的に: 和歌山の方言‘けちょに’は‘非常に’という意味で使われた。

**ざっくばらん: Frank** 心をざっくり割って、ばらりと明かす。frankly speaking…ぶっちゃけて言えば…江戸時代に髪が乱れている様子を“ざっくばらり”と言った。

**けれんみのない: Unaffected** わざとらしさがない。「けれん」江戸末期に歌舞伎で宙乗りや早替わりなど大掛かりで奇抜な演出を言った演劇用語。

**つつがない: Free from accident** 障害がない。「つつが:恙」病気や災難、異常を表す。

**にべもない: Flat out** キツパリと、あからさまにを意味するイデオム。I told him flat out ハッキリ言ってやった、「にべ:膠」粘着力が強いニカワ。

**埒(ラチ)があかない: Make no progress** 進展しない、行き悩む「埒」は囲いや仕切りのことで、主に、馬場の周囲に設けた柵のこと。

**うさんくさい: Shady** 日陰になった—いかがわしい。高麗の焼き物「ウサン」の偽物が多く出回っていた/ポルトガル語 Vsanna(ウサナ:怪しい)等の説がある。

**おざなり: Careless** 仕事等のぞんざいな、いいかげんな「お座なり」座ったままのいい加減な処理。

**なおざり: Neglect** 無視する—軽視する、軽んじる。「等閑」いいかげんに放っておくこと。

**さもしい: Selfish** 自分本位—心底がいやしい「様悪し:サマアシ」が語源という。

**しゃらくさい: Cheeky** (人・言動が)生意気な。ずうずうしい洒落:しゃら。浮世絵師 東州齊写楽、香料の伽羅(キヤラ)諸説がある。

**まめめめしい: Hardworking** 勤勉な、働きものの。「忠実忠実しい」:豆豆しいではなかった…。

**ちゃんぼん: Mixture** 混同物、合成品。福建語の“まぜる”—長崎ちゃんぼん/歌舞伎や能楽で鉦(ショウ)を“チャン”と打つ、鼓(つづみ)を“ポン”と打つ。

**あわよくば: If things go well** うまくゆけば。「あわ」は「間:あわい」。時間的な“間”がよければが転じて“都合がよければ”の意味になった。

## 「敬天愛人」を英語で言うと



大同窓会で入手したタオルです。敬天の敬は respect (尊敬する) じゃなくて revere (崇敬する) なんですね。聖書の「あなたの父と母を敬え」(エベソ人への手紙 6-3) 英語は: Honor your father and mother になっています。

6月21日は「父の日」です。

(編集部)

東京九学会

幹事長

高森 重視

(S32)



〒104-0061 東京都中央区銀座8-5-22 805銀座ビル 3F  
TEL 03-5568-3011

本郷 久 (S32)

平成 26 年度会費・懇親会費・寄付納入者 (順不同)

卒業回	氏名	卒業回	氏名	卒業回	氏名	卒業回	氏名	卒業回	氏名
旧27	大 島 修		川 崎 義 治	S20	池 永 清		七 井 誠 一 郎	S65	坂 崎 健 斗
旧28	中 園 達 哉		鍋 島 健 二		金 口 勢 助	S38	黒 田 大 成		曾 我 圭 祐
旧30	松 本 義 郎		米 村 博 邦	S21	平 井 伸 二 郎		小 山 慎 一		中 川 引 太
S1	上 野 輝 彌		連 川 悠 一	S22	本 田 幹 人		上 田 貢 司	S66	山 下 愛 莉
	藤 堂 匡 令	S12	曾 根 精 華	S25	中 路 孝 博	S39	永 谷 隆 吏	J4	井 澤 浩 一
	今 村 讚		神 代 主 税		岡 山 恭 崇	S40	市 村 恵 介		安 岡 和 男
S2	片 山 謙 治		藤 本 英 輔	S27	片 岡 隆 一		井 野 裕 邦		渡 辺 芳 孝
	林 田 博 之		齋 藤 征 一 郎		和 田 浩 二		水 上 繁 雄	J28	松 村 修
S4	森 田 茂		太 田 黒 貞 男	S28	高 濱 英 俊		土 肥 純 門	J48	里 知 歌 子
S6	佐 藤 公 治		賀 村 英 治	S30	大 槻 滋 生		徳 永 博 嗣	J57	赤 木 綾
	調 匡 司	S13	藤 枝 英 一		高 木 宏 一	S43	宮 田 哲 治		
	田 浦 幹 彦	S14	中 村 義 孝		島 本 誠		松 木 信 宏		
	反 後 堯 雄	S15	坂 井 秀 昭		日 田 信 博	S44	倉 永 一 郎		
	亀 尾 要 道		東 精 一	S31	山 田 信 一 郎	S46	村 上 知 恵		
	緒 方 昭 義		村 上 征 四		平 井 英 虎	S51	松 村 佳 代		
	尾 上 賢		吉 住 寛	S32	浦 田 春 生		坂 本 泰 亮		
S7	増 村 寛		江 藤 昭 宏		大 森 尚 昭		坂 本 夕 以		
	山 村 越		岡 田 享 介		松 岡 正 博		迎 勇 輝		
	石 井 勢 祐		笹 渕 征 三 郎		畦 間 幸 男	S55	本 田 類		
S8	馬 場 諭		山 本 直 行		兼 本 浩 一	S56	井 野 祐 輔		
	森 浩		田 上 英 武		高 森 重 視		堀 川 茜		
	緒 方 榮 喜		入 江 万 峯		榊 浩	S58	福 島 千 恵		
	須 子 政 春	S16	糸 賀 讓 治		藤 本 卓 也	S59	上 野 公 志		
S9	木 村 正 義		園 田 峯 生		片 岡 茂	S60	永 田 優		
	吉 村 勉	S17	片 山 義 弘		本 郷 久		北 口 洋 平		
S10	西 田 忠 義	S18	荒 木 健		坂 本 祐 二	S63	岩 村 阿 耶		
	岩 崎 高 紀		池 部 荷 葉	S33	下 田 克 彦		山 口 秀 人		
	坂 根 信 義		橋 本 一 彦	S34	中 川 健 蔵		山 代 芽 生		
	西 義 幸		江 藤 隆 幸		竹 尾 修 一 郎		坂 野 栄 信		
S11	高 木 恵 一		大 西 信 之		岡 本 明		内 田 洋 介		
	満 井 坦 彦		藤 原 成 一	S36	赤 星 貴 司	S64	光 永 健 成		
	塘 添 嘉 彦		森 田 丞 生	S37	池 田 光 希		吉 田 幸 樹		

本会会員総数は、現在760名。本通信の発行部数は、本校・関係団体への送付、在熊卒業生等応援して下さいの方々への贈呈分を含め1000部を数えます。活動としては、総会・懇親会、KG会・新卒者歓迎会、神奈川支部の会合、納涼会、ゴルフ会、観劇会、広報H.Pの運営などが行われております。会の一層の発展のため、総会(本年は7月11日土曜)への奮っての参加、会費の納入をお願い致します。

年度の代り目でお忙しい中、皆様、ご執筆・ご協力有難う御座いました。

16号は東京九学会40周年記念号としたいと計画しております。

S6 尾上 賢、S25 中路孝博、S32 本郷 久、S54 Matt Berzins, S56 徳満優歌



URL : <http://www.kg-kai.jp/>

九學東京若手の会 KG会

代表 永谷 隆吏(S39) 事務局 坂本(S51)

〒168-0062 東京都杉並区方南1-8-17 株式会社オビカ内  
TEL : 090-3492-5372 E-mail : s51sakamoto@kg-kai.jp

メール用QRコード  
連絡はこちらから



株式会社 オビカ

岡本 明(S34)

〒168-0062 東京都杉並区方南1-8-17 Tel 03-5300-0722 Fax 03-5300-0723 <http://www.oka-p.co.jp>